

## 【学生向け】2020年度前期の遠隔授業に関するアンケート結果のまとめ

本学では、全学科において5月11日より遠隔授業を開始し、その後一部対面授業が再開された科目もありますが、遠隔授業を並行して実施しています。遠隔授業の実施において、その都度学生の声を聴きながら改善を図ってきましたが、遠隔授業の実施により良かったことや困っていることの全体を把握することを目的に、この調査を実施しました。

今回のアンケート結果は、今後の遠隔授業におけるサポート体制等に活用していきます。

新型コロナウイルス感染症対策連絡会議

対象：本学全学生 944 人を対象

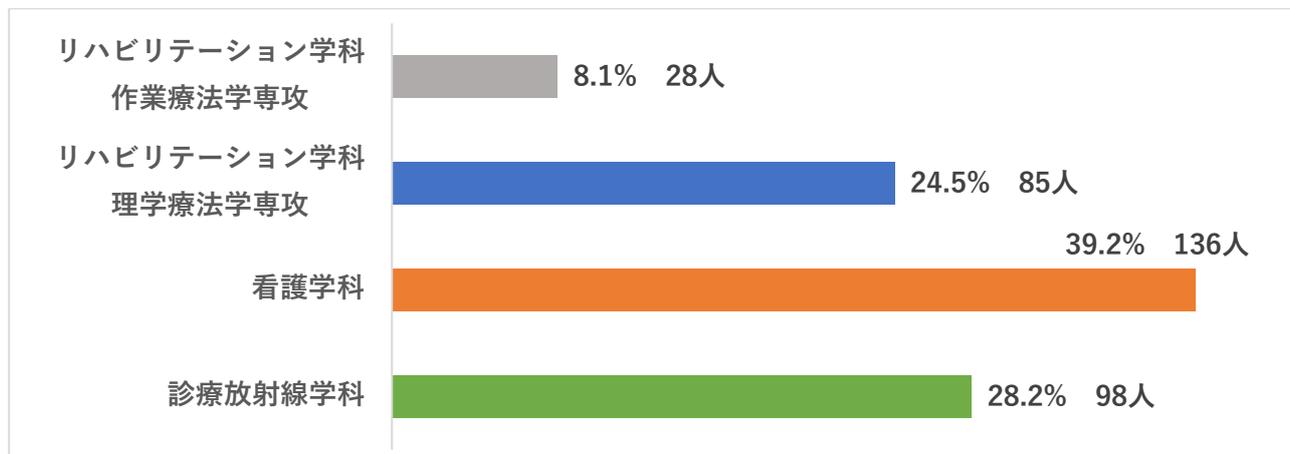
実施方法：Web アンケート（Microsoft Forms）

実施期間：2020年9月11日（金）～9月30日（水）

回答数：347（回答率 36.8%） 質問項目：17 問

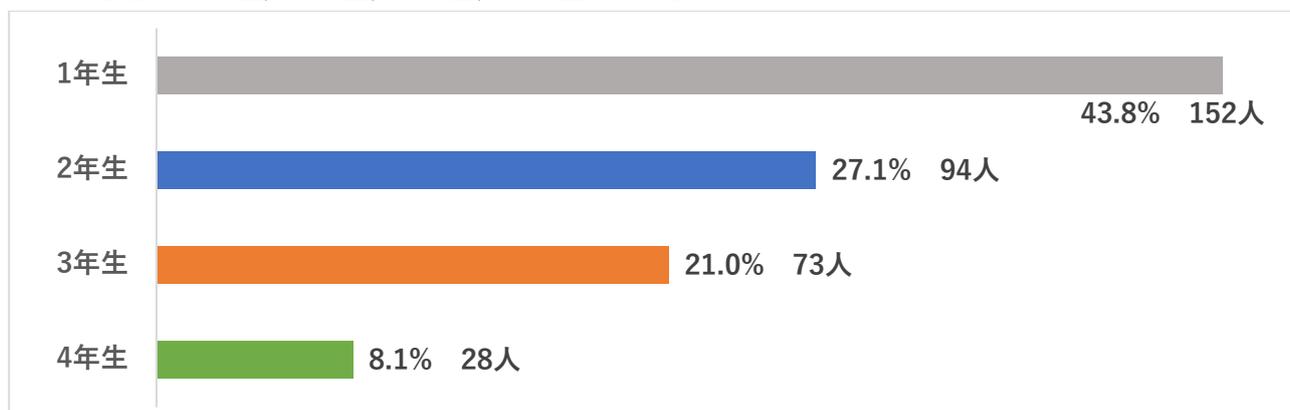
### ➤ 所属学科（n=347）

- ・回答者の割合は看護学科が最も多く、次いで診療放射線学科、リハビリテーション学科理学療法学専攻、リハビリテーション学科作業療法学専攻の順であった。



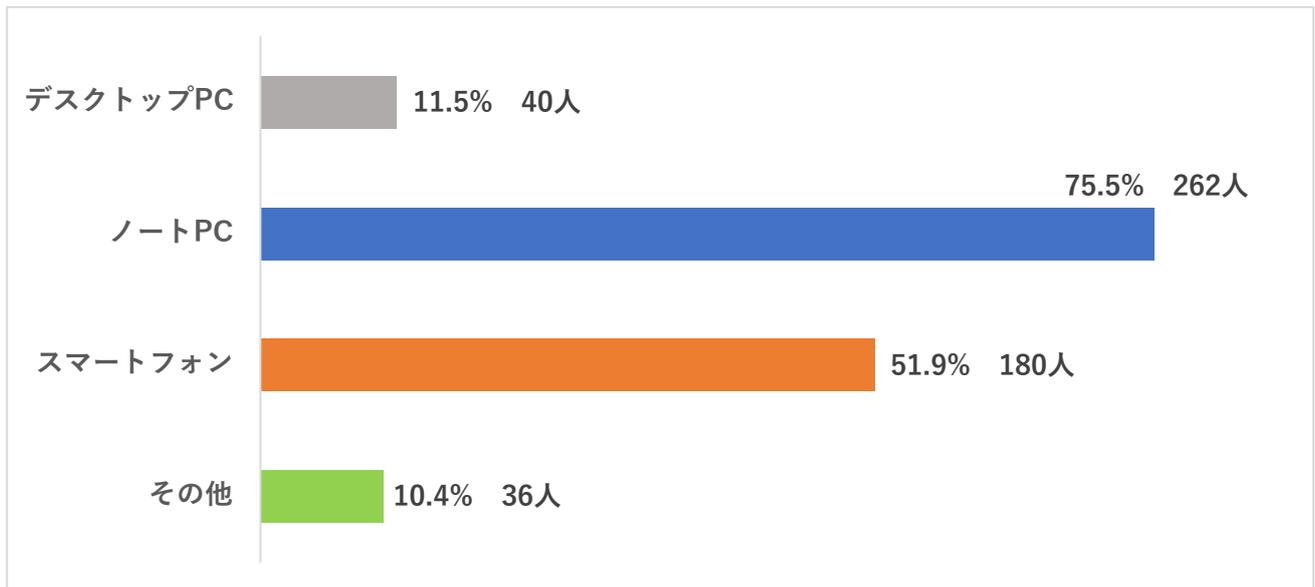
### ➤ 学年（n=347）

- ・回答者は1年生、2年生、3年生、4年生の順に多かった。



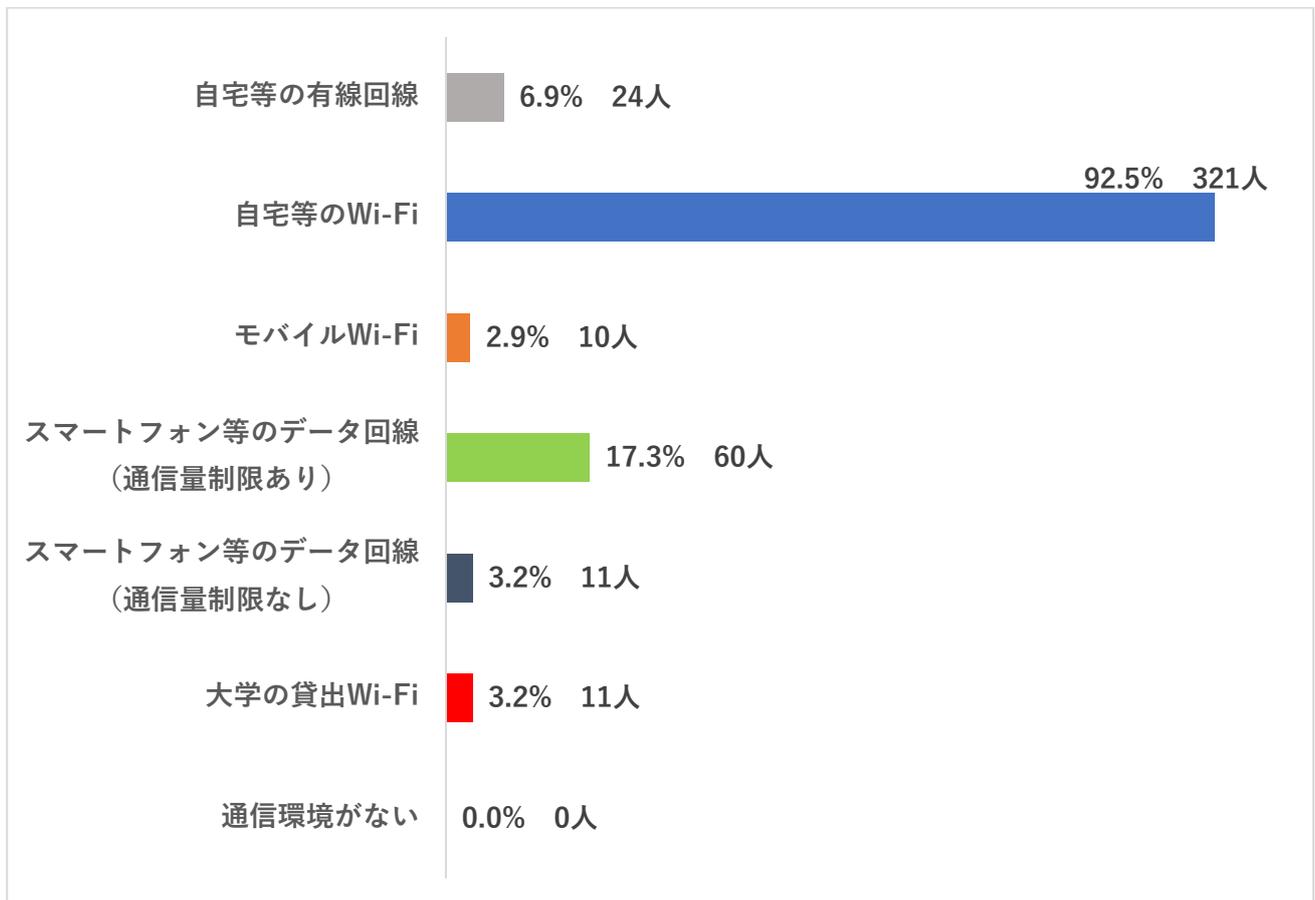
➤ 遠隔授業で使用している通信媒体（複数回答可）

- ・多くの学生はノート PC，スマートフォンを活用し授業を受けていた。
- ・その他としては，iPad の使用が多かった



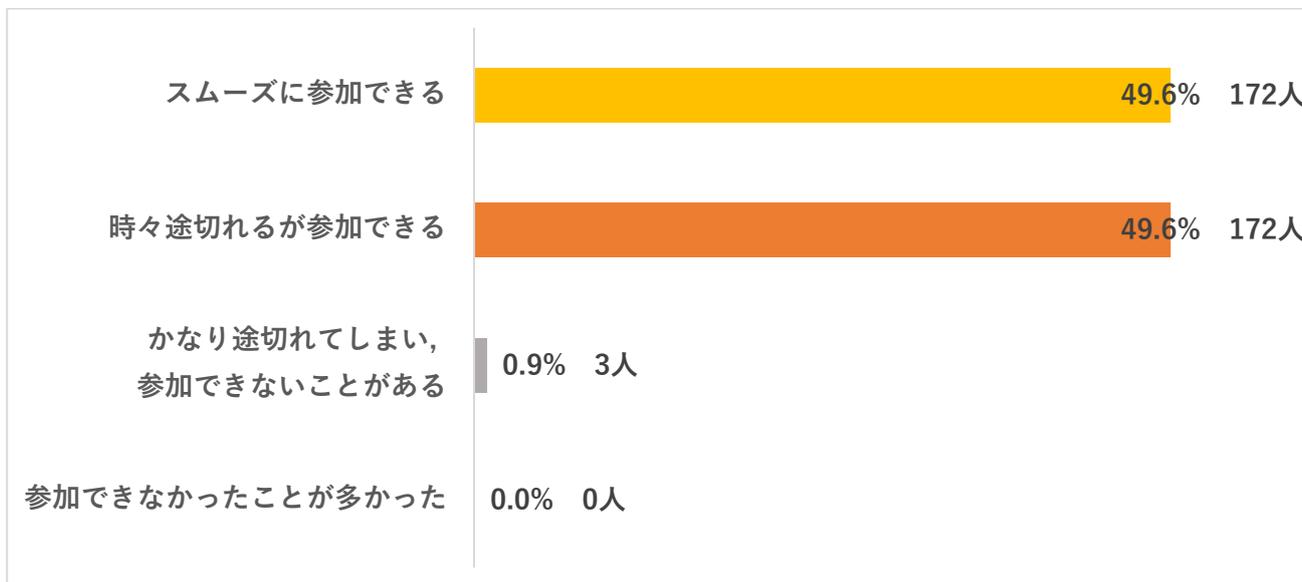
➤ 遠隔授業で使用している通信環境（複数回答可）

- ・自宅等の Wi-Fi が最も多く，次いでスマートフォン等のデータ回線（通信量制限あり）が多かった



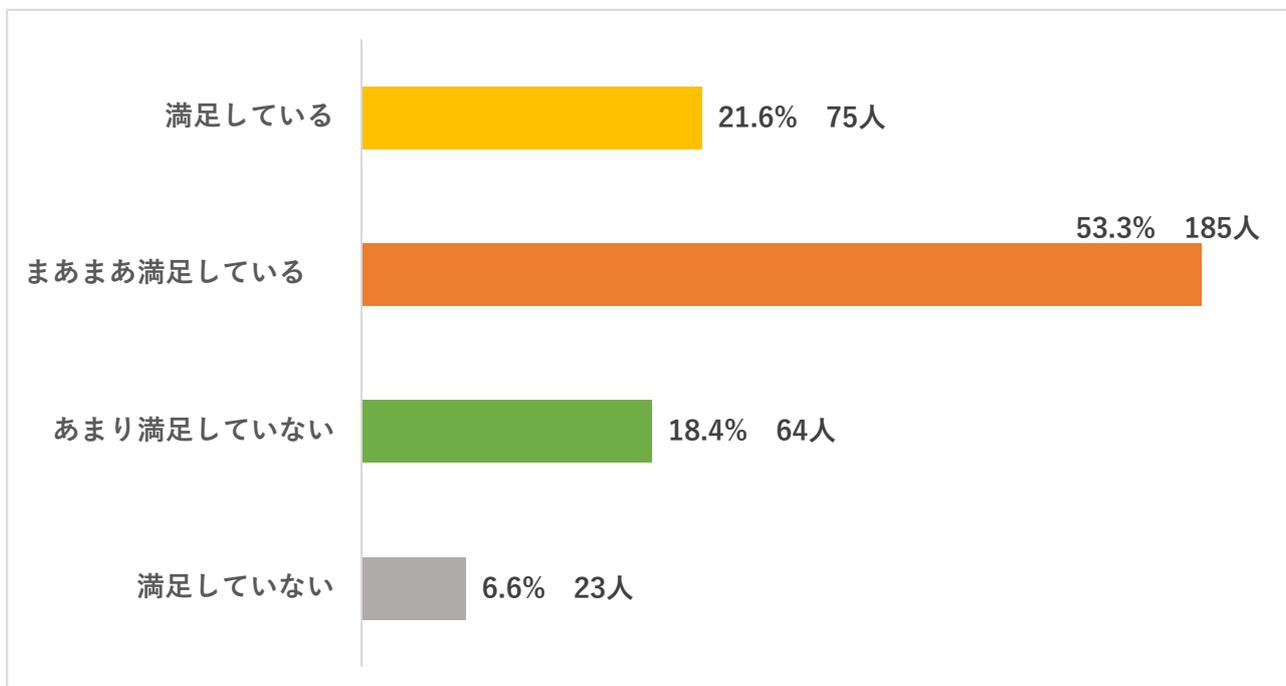
➤ 遠隔授業での通信状態 (n = 347)

- ・ ほぼ全員がスムーズに参加できていて、時々途切れるが参加できていた。
- ・ 半数の学生が時々途切れる状態であり、途切れた際はスマホを使用する等の対処をしている学生もいた。
- ・ 3人は参加できないことがあった。



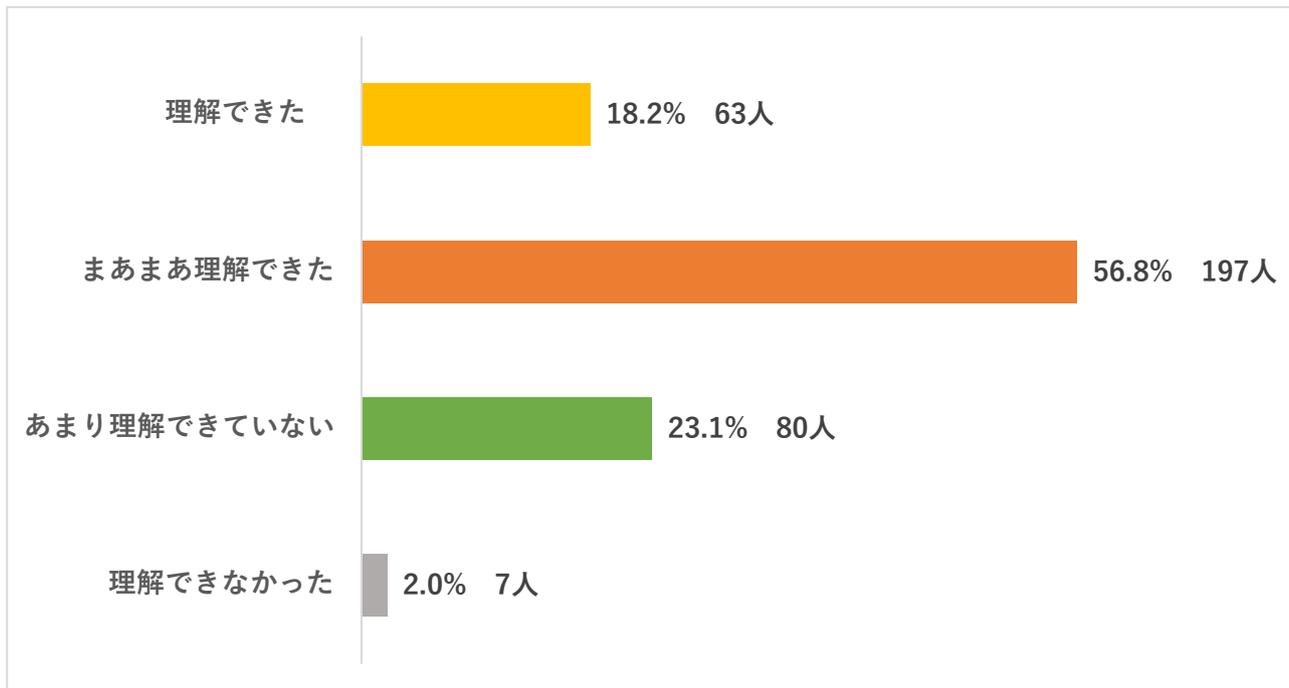
➤ 遠隔授業の満足度 (n=347)

- ・ 回答者の約75%は、前期に受けた遠隔授業について、満足している、まあまあ満足しており、約25%はあまり満足していない、満足していない状況である。



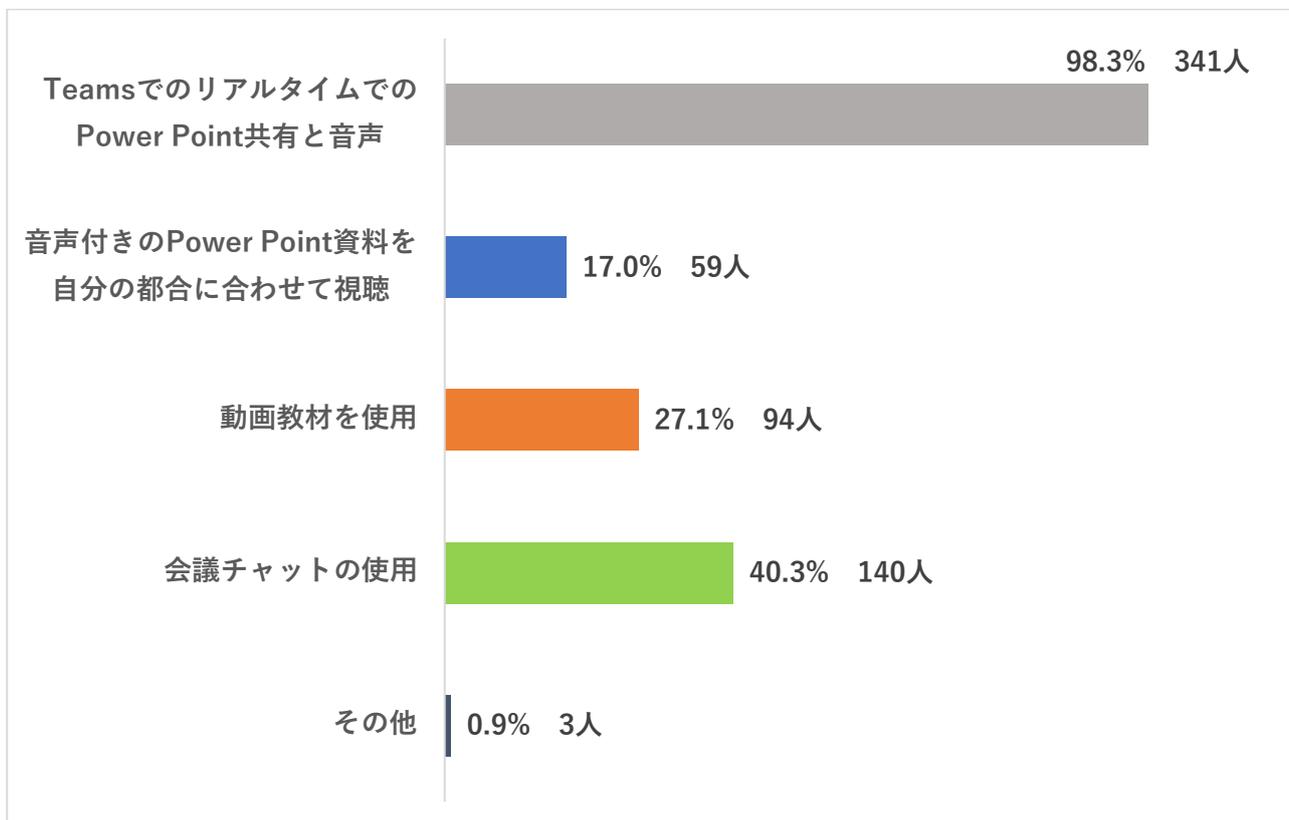
➤ 遠隔授業の理解度 (n=347)

・回答者の75%は、前期に受けた遠隔授業について、理解できたか、まあまあ理解できており、25%はあまり理解できていない、理解できなかった状況である。



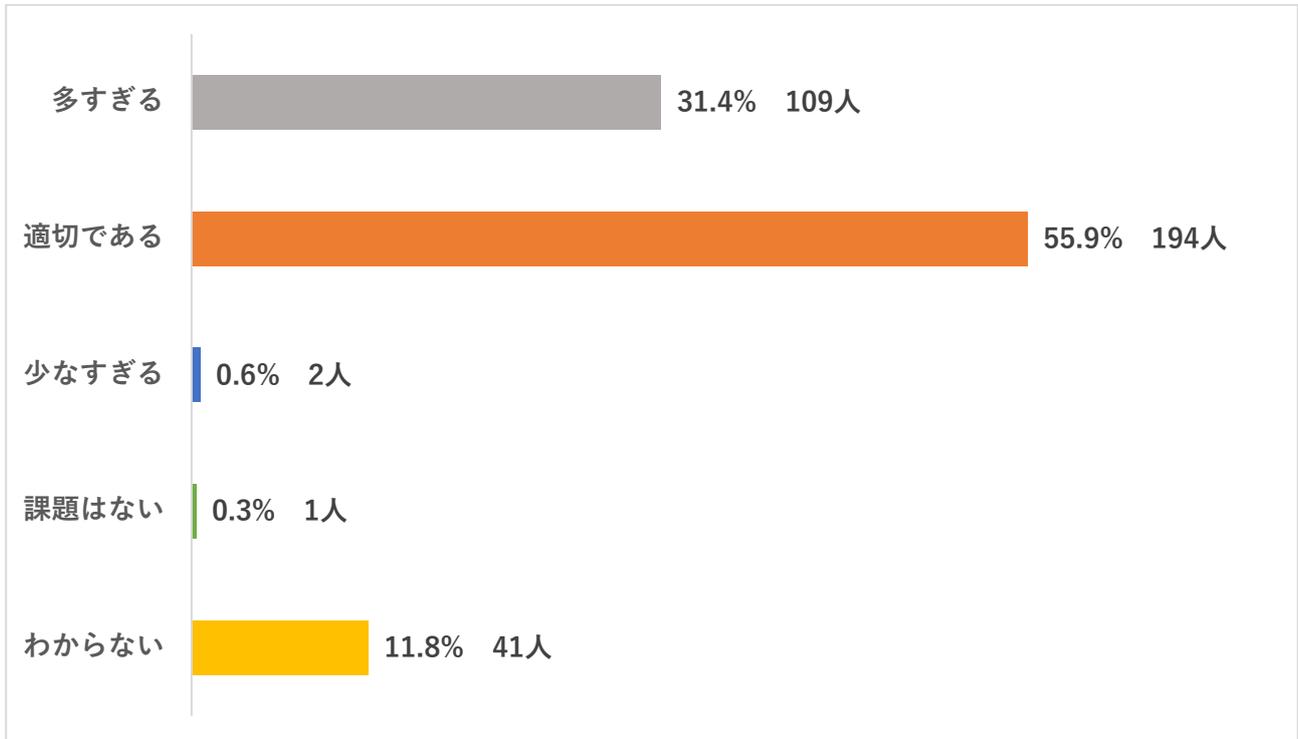
➤ 遠隔授業の形式 (複数回答可)

・回答者の98%はリアルタイムでの授業を受けており、オンデマンド形式の授業は17%であった  
・その他ではZOOMでの授業があった



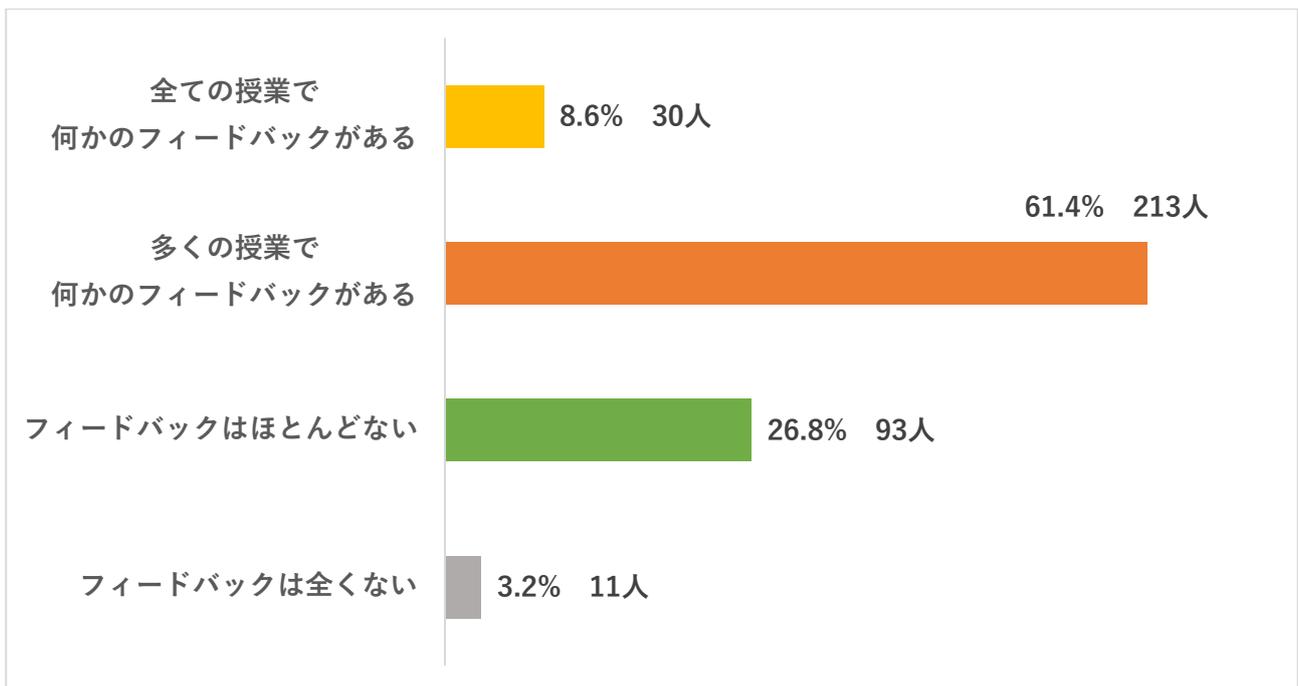
➤ **遠隔授業の課題の量 (n=347)**

- ・約 56%は課題の量は適切であり，約 31%は多すぎると回答し，少なすぎる，課題はないとの回答は 1%未満であった。
- ・課題の量について，わからないとの回答が約 12%であった。



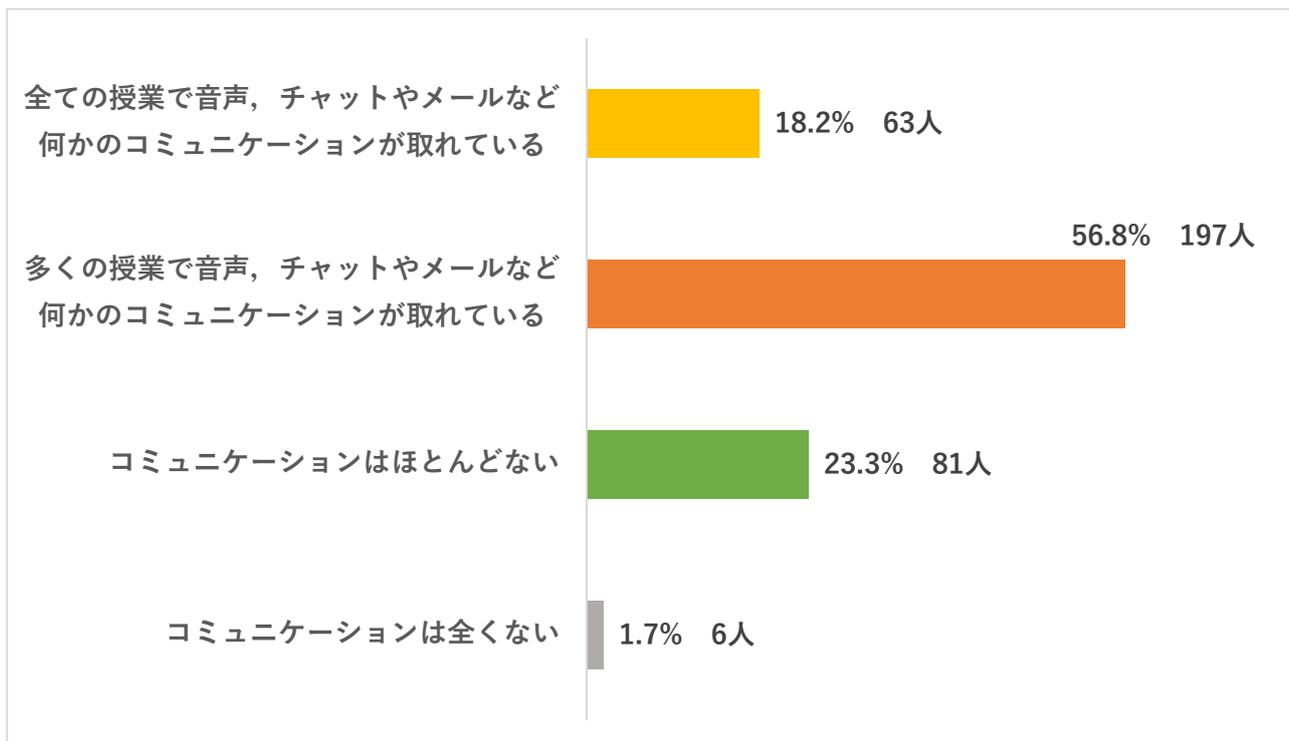
➤ **課題が課された場合に，課題に対して全体として教員から何かのフィードバックがありましたか**

- ・全てまたは多くの授業で何かのフィードバックが教員からあったのは 70%であり，フィードバックはほとんどまたは全くないのは 30%であった。



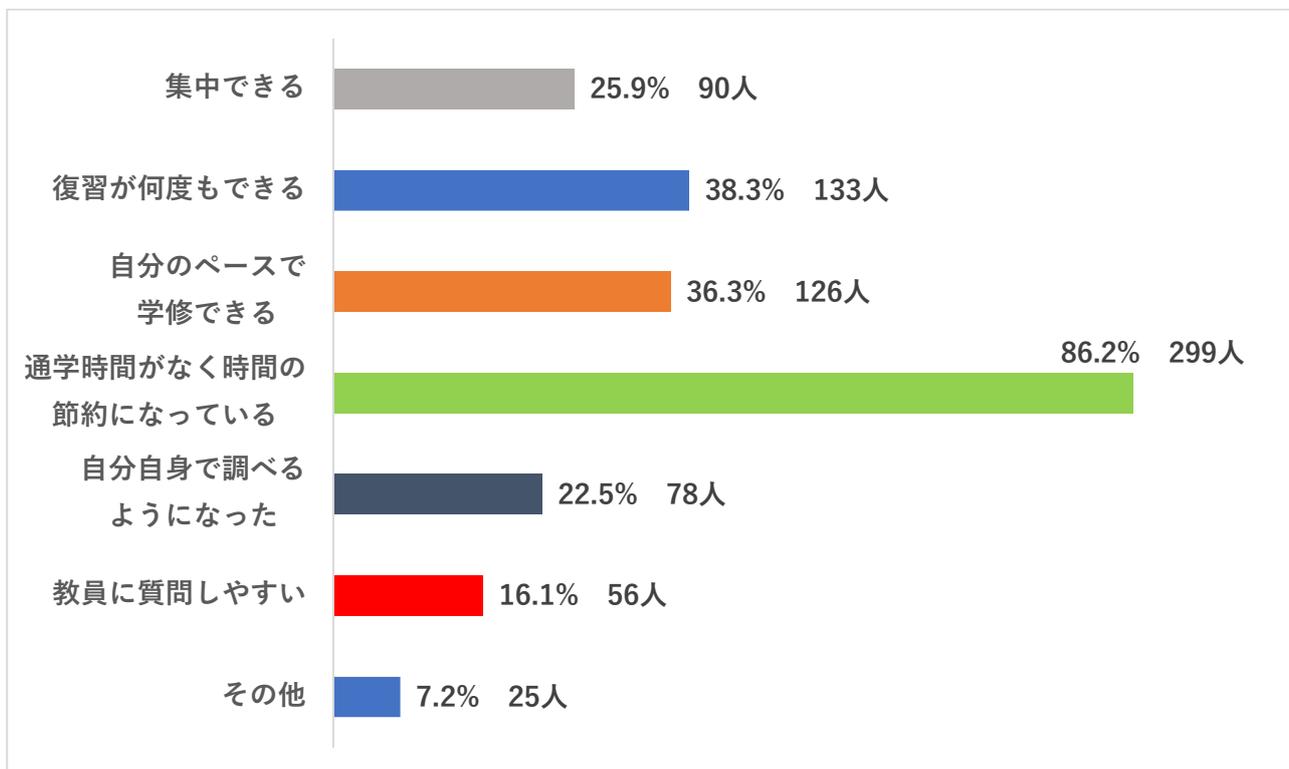
➤ 遠隔授業で教員とコミュニケーションが取れていましたか

- ・回答者のうち、全てまたは多くの授業で何かのコミュニケーションが取れていたは、75%であり、コミュニケーションはほとんどまたは全く取れていないは、25%であった。



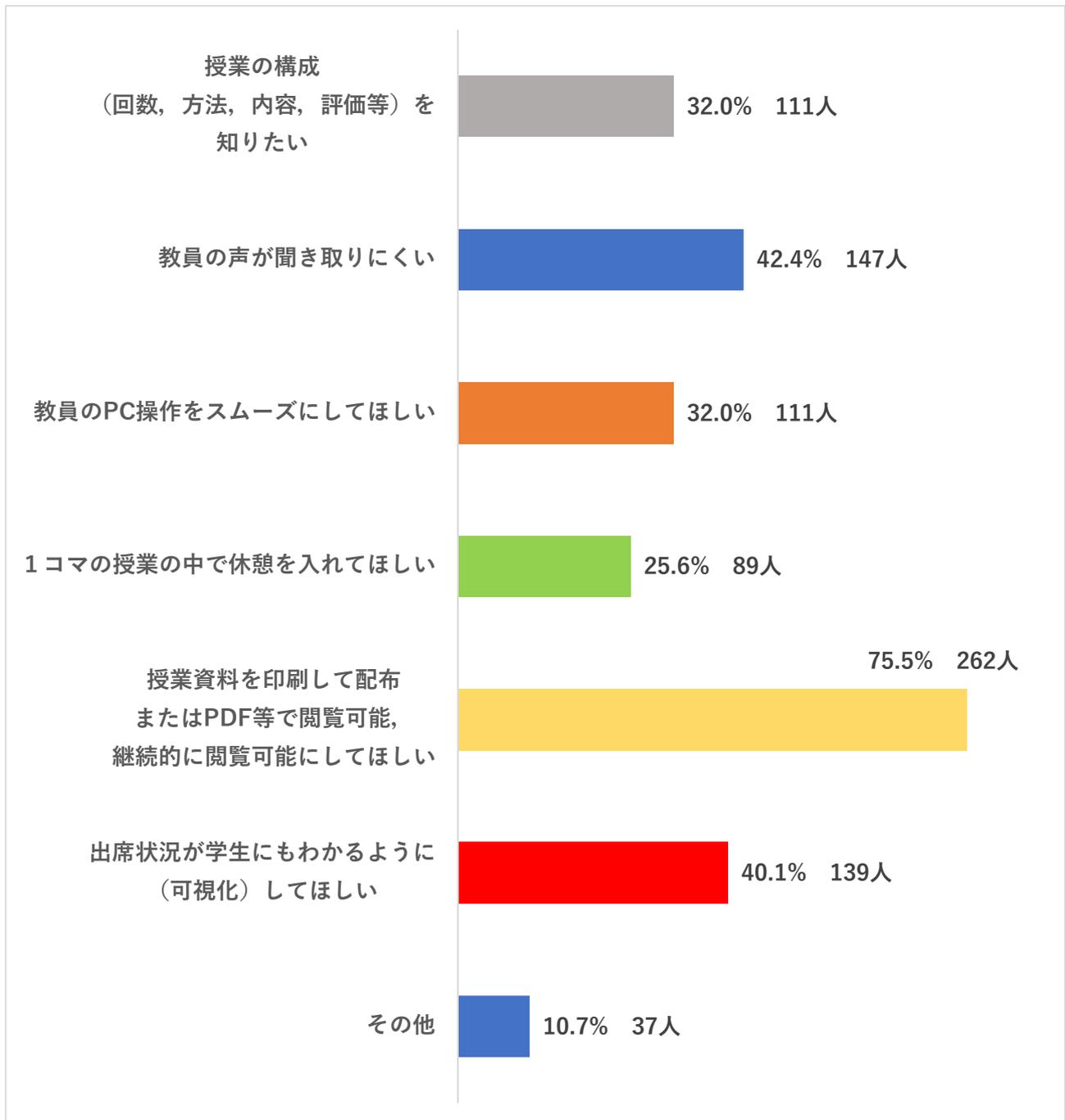
➤ 遠隔授業で良いと思うこと（複数回答可）

- ・通学時間の節約が最も多く、復習が何度もできる、自分のペースで学修できるの順であった。



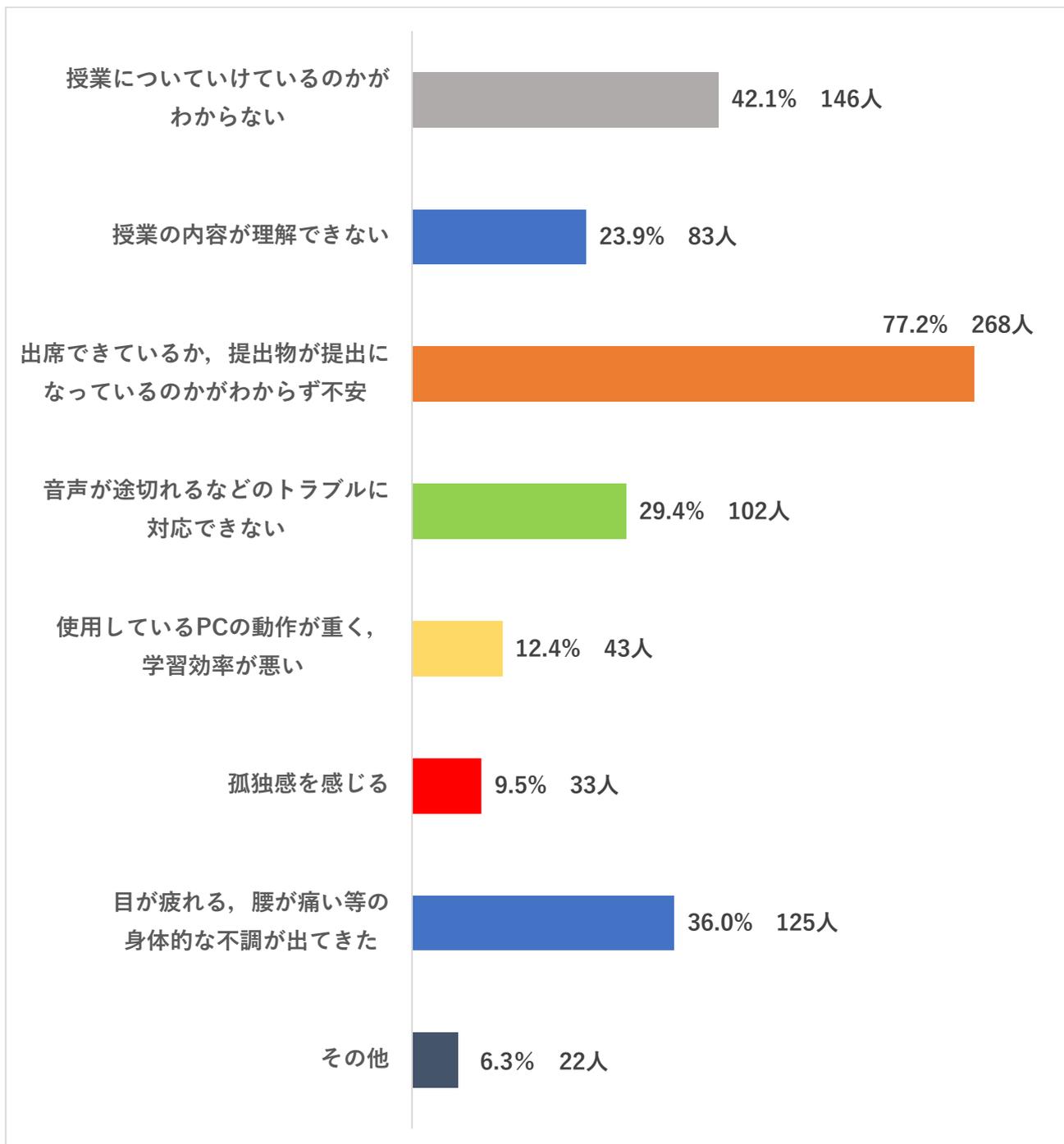
➤ 遠隔授業で改善してほしいこと（複数回答可）

- ・授業資料を印刷して配布または PDF 等で閲覧可能，継続的に閲覧可能にしてほしいとの回答が 75.5%で最も多く，教員の声が聞き取りにくい，出席状況の可視化の順に続いた。



➤ 遠隔授業で不安に感じていること（複数回答可）

・出席できているか、提出物が提出になっているのかがわからず不安との回答が77%であり、授業についていけないのかがわからない、目が疲れる、腰が痛い等の身体的な不調が出てきたがそれに続いた。



➤ 遠隔授業は、対面授業の代わりになっていたと思いますか (n=347)

- ・回答者のうち、十分またはある程度代替になっていたのは、約 83%であり、あまりまたは全く代替になっていないは、約 17%であった。

